



おひざのうえで

(副園長の子育ておうえん通信)(30年11月)

「カーニバル」



せんりひじり幼稚園
副園長 安達 かえで

先日のカーニバルはお疲れ様でした。

当日を迎えるまでの長い長い道のりを、丁寧に準備してきてくださったPTA役員さん、本当にありがとうございました。細やかな心配りがあちこちに見える優しさあふれるカーニバルでした。また、お忙しい中、時間のやりくりをして委員のお仕事をされた方や、ご家族の協力を得てできた方、何回もボランティアでご協力くださった方、ありがとうございました。皆様本当にお疲れ様でした。

子どもたちは当日が待ちきれない様子で、「あと5回寝たらカーニバルだよ」。次の日も「あと4回寝たら・・・」次の日も次の日も言いに来てくれる年長組の子がいました。カーニバルの次の日は、リュックに付けたキーホルダーを得意げに見せながら、登園してきていました。

当日は卒園生も大勢来てくれました。お引っ越しをした卒園生のご家族が「昨日から泊りがけで来ました。この日が楽しみで楽しみです。」と来てくれました。埼玉や名古屋や横浜からも。久しぶりに会って飛び跳ねている子どもたちの様子や、積もる話を抱えながら来てくれる卒園生の保護者の方と話をしていると「カーニバル」という行事が、どんどん成長をして大きな意味を持つようになってきたことを感じました。

そして年々大きくなるこのカーニバルの規模を、ここまで笑顔あふれるカーニバルにするのは、奇跡に近いような気がします。

昨年のPTA会長の薄木さんが、卒園式のご挨拶で次のようなことを話されました。

「カーニバルについては(長い期間かけて準備するが)費用対効果が悪すぎると思って見ていました。けれど、今日この卒園する子ども達がまたみんなカーニバルに帰ってくるんだなと思いました。そんな帰ってきたくなるようなカーニバルを、保護者のみなさんが作り上げてきた、そんな価値のある一日なんだ、と思いました。」

「価値のある一日」・・・まさにそう思います。

ここから年長組のお店屋さんごっこが始まります。運営するお店はカーニバルとは違ったものになりますが、協力し合って生き生きとお店をしている保護者の皆様の姿をモデルに、作りあげていくこととなります。年長組の一大プロジェクトです。お楽しみに。

.....

(おひざのうえで11月号) ご意見や感想があれば是非お書き下さい

(組) ()